

日蓮大聖人御書全集

しよくもつさんとかくごしよ

食物三徳御書

新版
2156

しよくもつさんとくごしよ

食物三徳御書

たからとす。財 魚は水をおやとし、うお みず 鳥は木を家とす。とり き いえ 人は食

をたからとす。財 かるがゆえに、太宗云わく「王は民をおやと

し、民は食を天とす」たみ じき てん とかかれたり。書

食には三つの徳あり。じき みつ とく 一には命をつぎ、いち いのち 二にはいろをま

し、三には力をそう。さん ちから 添 人に物をほどこせば、ひと もの 施 我が身のたす

けとなる。

譬えたとば、ひと 人のために火をともしひ 点ば、わ 前 明 我がまえあきらかな

るがごとし。

あく 造

者 養

いのち 増

け 長

悪をつくるものをやしなえば、命をますゆえに気ながし、

いろ

まなこ

光

ちから

足

色をますゆえに眼にひかりあり、力をますゆえにあし

速 手利

じき

与

ひと

はやくてきく。かるがゆえに、食をあたえたる人、かえり

色

け 弱

ちから

報

得

ていろもなく、気もゆわく、力もなきほうをうるなり。

いっさいきよう

もう

かみ

うえ

もんじ

載

たと

こくう

一切経と申すは紙の上に文字をのせたり。譬えば、虚空

せいげつ

連

だいち

そうもく

差

もんじ

に星月のつらなり、大地に草木のさせるがごとし。この文字

しやかによらい

け

そうろう

け

もう

しょうけ

は、釈迦如来の気にも候なり。気と申すは生氣なり。こ

しょうけ

ふた

いち

くかい

の生氣に二つあり。一には九界。